

# 校長室から

第8号

## 「朝日に映えてそびえ立つ 札滑岳の雄々しさよ」～その8～

本稿は、校歌の歌詞に対する素朴な疑問から始まり、一つの疑問が解けると、新たな疑問が出てくるという展開になりました。その過程で明らかになったこと（主に筆者の見解）と、副産物的に明らかになったこと、新たに生じた疑問についてまとめてみます。

「朝日に映えて・・・」校歌1番冒頭の歌詞です。本校から札滑岳の雄々しい姿を望むことはできません。西興部市街地からも同様です。これが始まりでした。

### なぜ、この歌詞が作られたのでしょうか？

学校沿革誌等から、本校の第5代校長政井三郎氏（大正15年8月31日～昭和13年3月31日在職）が2代目校舎（大正6年10月1日～昭和2年10月21日、上興部原野8線448番地、現西興部中学校付近）に勤務していた時期に、日常的に目にしていたであろう札滑岳、その朝日に映えた雄々しい姿を校歌の歌詞にしたと考えることができます。

### 校歌はいつ作られたのでしょうか？

「瀬戸牛學報第拾五號 特輯二十五周年記念記事」の1ページに校歌の楽譜と歌詞が掲載されています。これには「二十五周年記念制定」の記載があります。昭和9年10月29日午前10時より二十五周年記念式が挙行されており、これをもって校歌制定とするのが筆者の見解です。さらに「文部省認可」の記載から、当時校歌を制定するには文部省の認可が必要だったことがわかりました。このことは、後に政井三郎氏の書簡によって証明されました。

### 最初の校歌と現在の校歌の歌詞は違っているのでしょうか？

昭和9年に制定された校歌と現在の校歌では、歌詞は6カ所が違っています。さらにメロディも1カ所ちがっていることがわかりました。

### 校歌はいつ、誰によって、なぜ改訂されたのでしょうか？

「開校五十周年記念行事文書綴昭和三十三年度起」や「参考資料五十周年」に綴られていた2通の書簡などの資料から、本校の開校五十周年記念式典の準備にあたった第10代校長阿部朝継氏（昭和29年5月1日～34年5月1日）から校歌の改訂を依頼された政井三郎氏が歌詞の一部を改訂し、それを受けて松田喜一氏が曲の一部を改訂したと考えられます。新しい校歌は昭和34年6月21日の開校五十周年記念式典において披露されました。ここで上興部小学校の開校五十周年記念行事が本校より1年早く行われていたことがわかりました。また、昭和34年3月現在校歌が歌われていないことがわかりました。

### なぜ、校歌は歌われなくなっていたのでしょうか？

全くの想像ですが、古い校歌の3番の歌詞「おほみおしへを偲びつつ赤子の覚悟固めばや」あたりが戦後民主主義の時代に合わないということになって、歌われなくなったのではないのでしょうか。このことについては当時の関係者の証言を待たなければなりません。

以上、歴史を経て今年79才の誕生日を迎える校歌を受け継ぐ意味を考え、歌い続けてまいりたいと存じます。校歌についてはここで一度筆を置きます。

さて、新たに生じた疑問「上興部小学校の開校五十周年記念行事が本校より1年早く行われていた」ことについて、いずれ明らかにしなければなりません。そのためには、**本校の開校がいつなのか？**を調べる必要があります。筆者の覚悟と、そして準備が整いしだい、近いうちに文章にいたします。しばらくの間、準備のために休刊といたします。